

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	設計製図4（Atelier Practice of Design and Drawing 4）		
ナンバリングコード	L30309	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 建築設計製図
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修:建築設計コース、住居・インテリアコース 選択:建築工学コース、環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L030951	クラス名	建築デザインクラス
担当教員名	西村 謙司、島岡 成治、服部 亜希、石井 翔大		
履修上の注意、履修条件	毎回の提出物を約束通り提出できることが条件です。 特別な場合を除いて、例外は認められないので注意しておく必要があります。 毎回課される自宅課題を決められた時間までに提出する必要があります。		
教科書	必要に応じて資料配布します。		
参考文献及び指定図書	『建築設計演習 応用編―独立住居から集合住居の設計まで』（彰国社）武者英二他 『学校建築ルネサンス』（鹿島出版会）上野淳		
関連科目	建築計画、建築設計など		

○基本情報		
授業の目的	「設計製図4」では、設計製図1～3で養われた基礎的な設計能力をさらに発展させるため、機能的に複雑でかつ社会性を問題とした課題を取り上げ、デザイン能力の充実を図ります。少人数のグループを一単位として、討論を行いながら演習し、そこで、建築の機能計画や造形的構成に関する能力はもとより、プレゼンテーションや社会的提案の能力の向上を図ります。	
授業の概要	第1課題「小学校」では、＜地域に根ざした学校建築＞のあり方が、第2課題「低層集合住宅」では、＜共生する住まい＞のあり方の理想型を探究します。これらの課題を通して、建築の設計技術を向上させるとともに建築の社会的意義を追求する力を身につけます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「実験実習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	実務経験者:服部亜希氏（株式会社 翔 設計室）が、実社会の中で行う建築設計コンサルタント業務に即して、複合的で社会性の高い建築作品の制作を行うための実践的コンサルタント業務のあり方を含めて指導。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	設計課題に関して、自ら情報収集を行い、それをもとに、建築作品を制作する。			25点
【知識・理解】	建築の機能計画、造形構成の修得。		25点	
【技能・表現・コミュニケーション】	デザイン能力、プレゼンテーション能力が優れていること。		25点	
【思考・判断・創造】	独自性を有する提案の有無。社会的提案能力の修得。		25点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
原則として毎回、課題のチェックをします。提出および発表をもって出席に代えますので、毎回、かならず提出してください。 達成水準の目安は以下の通りです。 毎回、課題の提出、発表、チェックを行います。その内容が採点されます。 設計製図の課題作品が未提出の場合、単位取得は困難です。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を特別優れて満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を優れて満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を良く満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

○その他
フィードバックは、適宜行います。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	設計製図4 (Atelier Practice of Design and Drawing 4)	授業コード	L030951
	担当教員	西村 謙司、島岡 成治、服部 亜希、石井 翔大		
学修内容				
1. 課題説明1				
設計製図4の学習目的・方法・意義について解説します。				
また、第一課題であるく地域に根ざした学校建築＞の設計条件を説明します。加えて、過去に建築された学校建築の事例研究を行います。				
予習	優れた学校建築の具体的事例を『新建築』から探し、調査すること。			約2時間
復習	課題設定された敷地の調査分析を行う。学校建築の具体的事例の作品分析を行う。			約2時間
2. 課題説明1				
設計製図4の学習目的・方法・意義について解説します。				
また、第一課題であるく地域に根ざした学校建築＞の設計条件を説明します。加えて、過去に建築された学校建築の事例研究を行います。				
予習	優れた学校建築の具体的事例を『新建築』から探し、調査すること。			約2時間
復習	課題設定された敷地の調査分析を行う。学校建築の具体的事例の作品分析を行う。			約2時間
3. 敷地分析とコンセプト				
建築の敷地分析を行い、その分析結果を発表し、敷地の特性理解を深めます。				
また、各自が設定した建築のコンセプトを発表し、建築設計の意図を明確にします。				
学校の社会性をふまえた計画の提案能力が求められます。				
予習	敷地分析、学校建築の事例分析を踏まえた上で、自らの作品のコンセプトの発表準備。			約2時間
復習	敷地の周辺模型、学校建築のヴォリューム模型の作製。学校建築のコンセプトの再考。			約2時間
4. 敷地分析とコンセプト				
建築の敷地分析を行い、その分析結果を発表し、敷地の特性理解を深めます。				
また、各自が設定した建築のコンセプトを発表し、建築設計の意図を明確にします。				
学校の社会性をふまえた計画の提案能力が求められます。				
予習	敷地分析、学校建築の事例分析を踏まえた上で、自らの作品のコンセプトの発表準備。			約2時間
復習	敷地の周辺模型、学校建築のヴォリューム模型の作製。学校建築のコンセプトの再考。			約2時間
5. シェマの作成				
第2回目に設定したコンセプトを図式化し、建築の平面構成の基礎を作成します。				
同時に、建築全体の造形イメージを具体化します。				
学年毎の特性とクラス毎の特性を設定し、学習組織の全体構成能力を育成します。				
予習	敷地の場所性、機能計画、地域性に基づいた学校建築のコンセプトの図式化、シェマの作成。			約2時間
復習	学校建築のコンセプト、シェマの再考。シェマに基づいた造形イメージの構想。			約2時間
6. シェマの作成				
第2回目に設定したコンセプトを図式化し、建築の平面構成の基礎を作成します。				
同時に、建築全体の造形イメージを具体化します。				
学年毎の特性とクラス毎の特性を設定し、学習組織の全体構成能力を育成します。				
予習	敷地の場所性、機能計画、地域性に基づいた学校建築のコンセプトの図式化、シェマの作成。			約2時間
復習	学校建築のコンセプト、シェマの再考。シェマに基づいた造形イメージの構想。			約2時間
7. エスキスと図面の作成				
第3回目に作成したシェマを基礎にして、エスキスを進め、平立断面図を作成します。				
理想イメージの核として作成されたシェマを現実のものとして具体化する能力を育成します。				
予習	学校建築のコンセプト、シェマ、造形イメージを含むエスキスの発表準備。			約2時間
復習	造形イメージのエスキースに基づく、平立断面図の検討。			約2時間
8. エスキスと図面の作成				
第3回目に作成したシェマを基礎にして、エスキスを進め、平立断面図を作成します。				
理想イメージの核として作成されたシェマを現実のものとして具体化する能力を育成します。				
予習	学校建築のコンセプト、シェマ、造形イメージを含むエスキスの発表準備。			約2時間
復習	造形イメージのエスキースに基づく、平立断面図の検討。			約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	設計製図4 (Atelier Practice of Design and Drawing 4) 西村 謙司、島岡 成治、服部 亜希、石井 翔大	授業コード	L030951
学修内容					
9. 図面の作成 平立断面図を綿密に練り上げます。理想と現実のずれを自覚し、理想像を現実の世界に投影する力を養います。 理想イメージの具体化の困難と突破方法を模索します。					
予習	学校建築のコンセプト、シェマ、造形イメージに基づく、平立断面図のエスキースの発表準備。				約2時間
復習	授業中に指摘された設計案のエスキースの問題点の再考。				約2時間
10. 図面の作成 平立断面図を綿密に練り上げます。理想と現実のずれを自覚し、理想像を現実の世界に投影する力を養います。 理想イメージの具体化の困難と突破方法を模索します。					
予習	学校建築のコンセプト、シェマ、造形イメージに基づく、平立断面図のエスキースの発表準備。				約2時間
復習	授業中に指摘された設計案のエスキースの問題点の再考。				約2時間
11. プレゼンテーション図面の作成 作成した図面を基に、全体像を第3者に伝えるためのプレゼンテーション図面を作成します。 3次元で構成された建築空間を2次元の平面に投射し表現する方法を学習します。					
予習	平立断面図のエスキース、パース・模型作成、およびプレゼンテーション図面の検討とその発表準備。				約2時間
復習	授業中に指摘された設計案のエスキースの問題点の再考。				約2時間
12. プレゼンテーション図面の作成 作成した図面を基に、全体像を第3者に伝えるためのプレゼンテーション図面を作成します。 3次元で構成された建築空間を2次元の平面に投射し表現する方法を学習します。					
予習	平立断面図のエスキース、パース・模型作成、およびプレゼンテーション図面の検討とその発表準備。				約2時間
復習	授業中に指摘された設計案のエスキースの問題点の再考。				約2時間
13. 講評会 作成したプレゼンテーション図面を用い、口頭で作品の内容を説明することによって、 3次元で構成された建築空間を第3者に伝えるトレーニングを試みます。 加えて、他の作品を講評する能力を習得します。					
予習	設計案の図面、模型、パースの作成、およびそれらのプレゼンテーション図面の作成。発表準備。				約2時間
復習	講評会にて指摘された設計案、プレゼンテーション図面の問題点を訂正し、ポートフォリオを作成。				約2時間
14. 講評会 作成したプレゼンテーション図面を用い、口頭で作品の内容を説明することによって、 3次元で構成された建築空間を第3者に伝えるトレーニングを試みます。 加えて、他の作品を講評する能力を習得します。					
予習	設計案の図面、模型、パースの作成、およびそれらのプレゼンテーション図面の作成。発表準備。				約2時間
復習	講評会にて指摘された設計案、プレゼンテーション図面の問題点を訂正し、ポートフォリオを作成。				約2時間
15. 課題説明2 第2課題である＜共生を課題とした低層集合住宅＞の設計条件を説明します。 さらに、過去に建築された集合住宅の事例研究を行います。					
予習	「住居論」で学んだ集合住宅についての課題復習と優れた低層集合住宅の具体的事例の調査。				約2時間
復習	集合住宅の具体的事例の作品分析と設計における各自のテーマの設定。				約2時間
16. 課題説明2 第2課題である＜共生を課題とした低層集合住宅＞の設計条件を説明します。 さらに、過去に建築された集合住宅の事例研究を行います。					
予習	「住居論」で学んだ集合住宅についての課題復習と優れた低層集合住宅の具体的事例の調査。				約2時間
復習	集合住宅の具体的事例の作品分析と設計における各自のテーマの設定。				約2時間

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	設計製図4 (Atelier Practice of Design and Drawing 4) 西村 謙司、島岡 成治、服部 亜希、石井 翔大	授業コード	L030951
学修内容					
17. 敷地分析とコンセプト					
低層集合住宅に相応しい敷地を各自が設定し、その敷地分析を行います。 また、各自が設定した建築のコンセプトを発表し、建築設計の意図を明確にします。 集合住宅のコミュニティーのあり方を検討します。					
予習	各自の設計テーマに相応しい敷地の選定と分析、及びそれらを踏まえた集合住宅のコンセプトの発表準備。				約2時間
復習	周辺部分を含めた敷地の再調査と分析、及び敷地周辺模型の作成。集合住宅のコンセプトの再考。				約2時間
18. 敷地分析とコンセプト					
低層集合住宅に相応しい敷地を各自が設定し、その敷地分析を行います。 また、各自が設定した建築のコンセプトを発表し、建築設計の意図を明確にします。 集合住宅のコミュニティーのあり方を検討します。					
予習	各自の設計テーマに相応しい敷地の選定と分析、及びそれらを踏まえた集合住宅のコンセプトの発表準備。				約2時間
復習	周辺部分を含めた敷地の再調査と分析、及び敷地周辺模型の作成。集合住宅のコンセプトの再考。				約2時間
19. シェマの作成					
前回設定したコンセプトを図式化し、建築の平面構成の基礎を作成します。 同時に、全体の造形イメージを具体化します。 さらに、集合住宅の住宅パターンと家族構成の設定を検討し、図化します。					
予習	敷地の場所性や地域性、提案される住まい方に基づいた集合住宅のコンセプトの図式化、シェマの作成。				約2時間
復習	集合住宅のコンセプト、シェマの再考。シェマに基づいた造形イメージの構想。				約2時間
20. シェマの作成					
前回設定したコンセプトを図式化し、建築の平面構成の基礎を作成します。 同時に、全体の造形イメージを具体化します。 さらに、集合住宅の住宅パターンと家族構成の設定を検討し、図化します。					
予習	敷地の場所性や地域性、提案される住まい方に基づいた集合住宅のコンセプトの図式化、シェマの作成。				約2時間
復習	集合住宅のコンセプト、シェマの再考。シェマに基づいた造形イメージの構想。				約2時間
21. エスキスと図面の作成					
前回作成したシェマを基礎にして、エスキスを進め、平立断面図を作成します。 理想イメージの核として作成されたシェマを現実のものとして具体化する能力を育成します。					
予習	集合住宅のコンセプト、シェマ、造形イメージを含むエスキスの発表準備。				約2時間
復習	造形イメージのエスキスに基づく、平立断面図の検討。				約2時間
22. エスキスと図面の作成					
前回作成したシェマを基礎にして、エスキスを進め、平立断面図を作成します。 理想イメージの核として作成されたシェマを現実のものとして具体化する能力を育成します。					
予習	集合住宅のコンセプト、シェマ、造形イメージを含むエスキスの発表準備。				約2時間
復習	造形イメージのエスキスに基づく、平立断面図の検討。				約2時間
23. 図面の作成					
平立断面図を綿密に練り上げます。理想と現実のずれを自覚し、理想像を現実の世界に投影する力を養います。 理想イメージの具体化の困難と突破方法を模索します。					
予習	集合住宅のコンセプト、シェマ、造形イメージに基づく、平立断面図のエスキスの発表準備。				約2時間
復習	授業中に指摘された設計案のエスキスの問題点の再考。				約2時間
24. 図面の作成					
平立断面図を綿密に練り上げます。理想と現実のずれを自覚し、理想像を現実の世界に投影する力を養います。 理想イメージの具体化の困難と突破方法を模索します。					
予習	集合住宅のコンセプト、シェマ、造形イメージに基づく、平立断面図のエスキスの発表準備。				約2時間
復習	授業中に指摘された設計案のエスキスの問題点の再考。				約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	設計製図4（Atelier Practice of Design and Drawing 4） 西村 謙司、島岡 成治、服部 亜希、石井 翔大	授業コード	L030951
学修内容					
25. プレゼンテーション図面の作成					
作成した図面を基に、全体像を第3者に伝えるためのプレゼンテーション図面を作成します。 3次元で構成された建築空間を2次元の平面に投射し表現する方法を学習します。					
予習		平立断面図のエスキース、パース・模型作成、およびプレゼンテーション図面の検討とその発表準備。			約2時間
復習		授業中に指摘された設計案のエスキースの問題点の再考。			約2時間
26. プレゼンテーション図面の作成					
作成した図面を基に、全体像を第3者に伝えるためのプレゼンテーション図面を作成します。 3次元で構成された建築空間を2次元の平面に投射し表現する方法を学習します。					
予習		平立断面図のエスキース、パース・模型作成、およびプレゼンテーション図面の検討とその発表準備。			約2時間
復習		授業中に指摘された設計案のエスキースの問題点の再考。			約2時間
27. 講評会					
作成したプレゼンテーション図面を用い、口頭で作品の内容を説明することによって、 3次元で構成された建築空間を第3者に伝えるトレーニングを試みます。 加えて、他の作品を講評する能力を習得します。					
予習		設計案の図面、模型、パースの作成、およびそれらのプレゼンテーション図面の作成。発表準備。			約2時間
復習		講評会にて指摘された設計案、プレゼンテーション図面の問題点を訂正し、ポートフォリオを作成。			約2時間
28. 講評会					
作成したプレゼンテーション図面を用い、口頭で作品の内容を説明することによって、 3次元で構成された建築空間を第3者に伝えるトレーニングを試みます。 加えて、他の作品を講評する能力を習得します。					
予習		設計案の図面、模型、パースの作成、およびそれらのプレゼンテーション図面の作成。発表準備。			約2時間
復習		講評会にて指摘された設計案、プレゼンテーション図面の問題点を訂正し、ポートフォリオを作成。			約2時間
29. ポートフォリオの作成					
作成した2つの作品を反省し、改善する点を見だし、つぎのステップに進む道を探ります。					
予習		2課題における講評会の結果を踏まえ、各自の設計案、プレゼンテーション図面の改善案の再考。			約2時間
復習		学校建築、集合住宅2作品のポートフォリオの完成。			約2時間
30. ポートフォリオの作成					
作成した2つの作品を反省し、改善する点を見だし、つぎのステップに進む道を探ります。					
予習		2課題における講評会の結果を踏まえ、各自の設計案、プレゼンテーション図面の改善案の再考。			約2時間
復習		学校建築、集合住宅2作品のポートフォリオの完成。			約2時間
31.					
予習					約2時間
復習					約2時間
32.					
予習					
復習					